
平成23年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成23年2月28日

質問者（質問順）

- 1 谷地伸次委員（民主党）
- 2 斎藤真二委員（公明党）
- 3 若林智子委員（無所ク）
- 4 太田正孝委員（無所ク）
- 5 河治民夫委員（共産党）
- 6 山田桂一郎委員（ヨコ会）
- 7 山下正人委員（自民党）
- 8 今野典人委員（民主ク）
- 9 宇都宮充子委員（ネット）

資源循環局

局 別 審 査

1 谷 地 伸 次 委 員 (民 主 党)

1 平成23年度予算について

- (1) 23年度予算の編成にあたって苦心した点は何か。
- (2) 23年度予算の特徴は何か。

2 ヨコハマ3R夢プランについて

- (1) G30行動と3R行動の違いについて伺いたい。
- (2) 財政が厳しい中でのヨコハマ3R夢プランの進め方について伺いたい。
- (3) 普及啓発の進め方について伺いたい。

3 発生抑制の取組について

- (1) リデュースの取組によって目指す姿について伺いたい。
- (2) 市民・事業者に期待するリデュース行動について伺いたい。
- (3) 「ヨコハマR（リデュース）ひろば」での検討プロセスについて伺いたい。
- (4) 「ヨコハマR（リデュース）ひろば」で具体化された取組について伺いたい。
- (5) 「ヨコハマR（リデュース）ひろば」の23年度の取組について伺いたい。

4 温暖化対策への廃棄物行政からのアプローチについて

- (1) 温室効果ガスの排出量はどのくらいあるのか。
- (2) 目標数値の持つ意味について伺いたい。
- (3) 目標達成に向けた取組について伺いたい。
- (4) ごみ発電の効率化に向けた取組について伺いたい。

5 廃棄物分野における国際貢献について

- (1) 廃棄物分野では、これまでどのような国際貢献を行ってきたのか。
- (2) 国際貢献を進めるにあたっての課題は何か。

(3) 今後どのように国際貢献を進めていくのか。副市長に伺いたい。

6 きめ細かな市民サービスの向上について

(1) ふれあい戸別収集・狭あい道路収集について

ア ふれあい収集について過去3か年の実施状況について伺いたい。

イ ふれあい収集を実施する効果について伺いたい。

ウ 過去3か年の狭あい道路収集の実施状況について伺いたい。

エ 狭あい道路収集はどのような地域からの要望が多いのか伺いたい。

オ 今後、どのように事業を拡充してくのか。

(要望) 大変厳しい財政状況にあるが、このような事業こそ優先順位は高いと考えます。今後必要な人員や機材等の体制を整備し、本事業の拡充を要望します。

カ ふれあい収集や狭あい道路収集などについては、現場職員はがんばっている。関係局と十分な連携が必要であるので、十分な庁内調整を含め副市長に応援をお願いしたいがどうか。

(2) 職員力の発揮について

ア 実際の事例について伺いたい。

イ 更なる職員力を活用することについての見解を伺いたい。

(3) 事故防止対策について

ア 任意保険加入のメリットについてどのように考えているか。

イ 今後どのように事故防止に取り組んでいくのか。

7 まちの美化・美しいまちの実現について

(1) 集積場所の改善について

ア 集積場所の改善に取り組むこととした理由について伺いたい。

イ 集積場所改善に取り組む意義について伺いたい。

ウ 具体的にどのような取組を行っているのか。

エ 集積場所の改善に今後どのように取り組んでいくのか。

(2) 喫煙禁止地区について

ア 23年度の喫煙禁止地区の取組について伺いたい。

イ 喫煙環境の整備について伺いたい。

ウ 喫煙禁止地区の周知の方法について伺いたい。

エ 今後の地区指定の考え方について伺いたい。

オ ポイ捨て防止にどのように取り組んでいくのか。

(要望) 市内全域でたばこの吸殻をはじめとするごみのポイ捨てを禁止していること、歩行中の喫煙をしないよう努めなければならないと定められていることなどを広報し、清潔で安全なまちの実現に向けて一層の努力をしていただくよう要望します。

2 齋藤真二委員（公明党）

1 ヨコハマ3R夢プランの推進・普及啓発について

(1) ヨコハマ3R夢プランについて

ア 「横浜G30プラン」の課題をどのように捉えているのか。

イ 「ごみ処理の安心の追求」の目指すものは何か。

ウ 市民ニーズの変化をどのように把握していくのか。

エ 多様化する市民ニーズに、市はどのような姿勢で取り組んでいこうと考えているのか。

(2) 「ヨコハマRひろば」の取組

ア 3R夢プランにおいてG30エコパートナーはどうなるのか。

イ 事業者向けの「3R夢パートナー制度」の目的について伺いたい。

ウ リデュースの推進にどのように「3R夢パートナー制度」を活用していくのか。

2 家庭での生ごみの減量化の推進について

(1) 生ごみ処理機購入助成制度の実施目的について伺いたい。

(2) 助成実績の過去3か年の推移と、来年度の助成予定はどのようになっているのか。

(3) 消滅型生ごみ処理機についても、助成の対象とすべきであると考えているかどうか。

(要望) 技術革新により、手軽に取り組める機器の利用などに対しての、利用促進制度の充実を要望します。

3 市民サービスの向上について

(1) ふれあい収集・狭あい道路収集について

ア ふれあい収集の広報の方法について伺いたい。

イ 収集業務以外のきめ細やかなサービスの提供であった事例について伺いた

い。

ウ 高齢者の見守りのための関係機関との連携に関する現在の状況について伺いたい。

エ 狭あい道路収集を拡大していくうえで、どのような課題があるか。

オ 高齢化が進む中で、本市の廃棄物行政はどうあるべきか。副市長に伺いたい。

(2) 不法投棄防止対策について

ア 本市の家電4品目の不法投棄の現状について伺いたい。

イ 23年度の不法投棄対策の概要はどのようになっているのか。

ウ 家電リサイクル法対象品目の排出方法について、どのように広報を行っているのか。

エ 不法投棄の未然防止に向けてどのように取り組んでいくのか。

(3) 放置自動車対策

ア 発見通報から撤去までに係る期間の違いについて伺いたい。

イ 一時移動の事例の内容について伺いたい。

ウ 放置自動車の早期撤去や発生防止に向けてどのような対策を講じていくのか。

(要望) 迅速な処理を期待するとともに、放置されない街の実現に向け、一層の努力をしていただくよう要望します。

4 適正処理の推進（都筑工場耐震補強工事）について

(1) 本市の焼却工場の耐震化の状況について伺いたい。

(2) 都筑工場の耐震診断の結果及び耐震補強の内容について伺いたい。

(3) 耐震補強工事を行うことによりどの程度の耐震性を有することになるのか。

(4) 財政負担の軽減及びコスト削減に配慮した内容について伺いたい。

(5) 煙突の外壁補修に伴う塗替えにあたっての配慮事項について伺いたい。

(要望) 「3R夢プラン」に市民のご協力をいただけるよう、積極的な普及・啓発に努めるよう要望します。

3 若林智子委員（無所ク）

1 横浜市一般廃棄物処理基本計画について

- (1) 平成13年度当時のごみ処理原価は42,494円と聞いているが、現在のごみ処理原価はどのくらいか。
- (2) 市民一人当たりの処理コストについて伺いたい。また、この間、どのように変化しているのか伺いたい。
- (3) 現在市民一人当たりの処理コストが上昇に転じている状況についてどのように捉えているのか、また、その状況について市民に対し説明が必要ではないか。
- (4) 新たな3R夢プランを進めていく中で、今後市民の負担はどのように変化していくと想定しているのか伺いたい。
- (5) どの品目のどういう処理にどれだけのコストがかかりますという情報を、積極的に情報提供していくことを考えていくべきだと思うが、見解を伺いたい。
- (6) 一般廃棄物会計基準とは何か。
- (7) 事業者としての横浜市、あるいは、資源循環局としてどのようなリデュースに取り組むのか伺いたい。
- (8) 水道局が年間200万本のペットボトルを製造しており、各局でも大量に購入している。資源循環局は、19年度は区・局トータルで86,000本のうち、53,000本、20年度は全体で約10万本のうち、33,000本近くを購入している。ぜひ見直しをしていただきたいが、これについて副市長に伺いたい。
- (9) 先進的な自治体の取組も研究して、横浜市として市民に見える形でリデュース行動をやっていただきたいと思うが、見解を伺いたい。

4 太田正孝委員（無所ク）

1 23年度予算について

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の概要と禁止されている事項について伺いたい。
 - (2) 市の粗大ごみ受付収集業務で名義貸しが行われていないか、どのように確認しているのか。また車両の名義はどのように確認しているのか。
 - (3) 請け負った業者に横浜市にかかってきた電話を転送する手続きは当局のどこで行っているのか。
 - (4) 電話の転送をN T Tに依頼して、市の公務員が行うのか。
 - (5) 車両の名義を偽った場合にどうなるのか。また請け負った業者以外の業者に接続することはあるのか。
 - (6) ごみの処理料金が全国的に見て高いと思うが、データについて伺いたい。
 - (7) ごみの減量が進んだと言っているが、ごみが減っているのに処理料が上がるのはおかしいと思うが、どうか。
 - (8) 開封作業に3年間で何人従事し、何件のごみを開封し、いくらかかっているのか。
 - (9) 過料を課した件数について伺いたい。
 - (10) 多額の費用をかけて、過料を課している理由について伺いたい。
 - (11) 多額の費用がかかるなら予算書を書き直すべきと考えるが、どうか。
- (要望) なるべく費用がかからないようにして、年度末に戻せるように努力していただきたい。

5 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 ヨコハマ3R夢プランについて

- (1) 市民・事業者・行政の役割、責任に係わる削減数値目標は、どのように示されているのか伺いたい。
- (2) 3R夢プランでは、拡大生産者責任をどのようにしようとしているのか。
- (3) 発生抑制をするために、生産・販売事業者との連携をどのように進めていくのか伺いたい。

2 生ごみ対策について

- (1) これまでの取り組みをどのように評価しているか伺いたい。
- (2) 生ごみマイスター事業からの教訓は何なのか伺いたい。
- (3) 多くの自治体で生ごみの堆肥化やバイオマスガス化などの資源化・減量化に取り組んでいる。3R夢プランでは、この生ごみの資源化・減量化の方向性を示すことが重要だと思うが、その方向性が明確になるのは、こうしたことからの教訓だと思う。それをどのように受け止めているのか伺いたい。

3 資源集団回収について

- (1) 古紙回収を100%資源集団回収に移行する目的とその課題について伺いたい。
- (2) 集団回収未実施地域で、行政回収がなくなったとしたら、資源化減量化に逆行することにならないか。さらに、行政回収の廃止に伴う市民・町内会・業者との連携がいっそう重要になると思うが、継続的な高い回収率を維持するために、どのように考えているのか。

4 ポイ捨て・喫煙禁止条例について

- (1) 市外からの来訪者に対して、市民と同様に過料が科せられる理由について伺いたい。

- (2) 過料の決定はどのようなことだったのか、確認のためにもう一回、この制度について伺いたい。
- (3) 市外からの来訪者に、看板や標識、ウェブだけで、周知徹底ができると思うか。駅のアナウンスや、旅行会社・観光事業者への周知はどうなっているのか伺いたい。
- (4) 来訪者に対しては、過料を徴収せず、警告だけに留めるべきではないか。

1 生ごみのバイオガス化について

- (1) 生ごみを資源化する意義について伺いたい。
- (2) 他都市における家庭系生ごみのバイオガス化の事業化の状況について伺いたい。
- (3) 実証実験の目的はどのようなものか。
- (4) 実証実験は、どのような方法で行っているのか。また、結果はどうか伺いたい。
- (5) 生ごみバイオガス化を実施するにあたり、どのような課題があるのか。
- (6) 平成23年度には、どのような内容で行うのか伺いたい。

2 産業廃棄物適正処理の推進について

(1) 廃棄物処理法改正への対応

- ア 今回の法律改正の中で、産業廃棄物の不適正処理対策強化としては、どのようなものが盛り込まれているのか伺いたい。
- イ 保管に関する事前届出制度が創設されたねらいは何か。
- ウ 届出制度運用にあたりどのような業務を行うのか伺いたい。
- エ 制度を実施することで、具体的にどのような効果があると考えているのか伺いたい。

(2) 本市の不適正処理に対する監視指導について

- ア 市が把握している産業廃棄物の不適正処理の件数とその特徴について伺いたい。
- イ 不適正処理対策を進めていく上での市の基本的な考え方を伺いたい。
- ウ 効果的な不適正処理対策の具体的な取組について伺いたい。
- エ 県警OBとチームを組むことにより、どのような効果があったのか伺いたい。
- オ 第6次横浜市産業廃棄物処理指導計画素案における不適正処理対策の位置

付けについて伺いたい。

カ 市民が安心して暮らせる横浜を目指し、不適正処理対策を進めるに当たっ
ての当局の決意を伺いたい。

(要望) 法制度を効果的に活用し、県警とのより一層の連携によって、市内の産業
廃棄物の不適正処理が一掃されるよう取り組んでいただくことを要望します。

1 平成23年度予算について

(1) 23年度予算編成の工夫について伺いたい。

(要望) 効率的な予算執行の中で、目に見える形で予算というものがこれだけ経費が削減されているということが実感できるよう要望します。

(2) 23年度予算に込める副局長の思いを伺いたい。

2 ヨコハマ3R夢プランについて

(1) ヨコハマ3R夢プランの推進によって、何を目指しているのか、副市長に伺いたい。

(2) おむつの収集について

ア おむつの収集について他都市の状況を伺いたい。

イ 在宅で家族が介護をしている世帯についても、ふれあい収集の要件に加えるべきと考えるがどうか。

ウ おむつが排出される世帯については、その他の世帯とは別に、収集回数を増やすなどの検討をすべきと考えるがどうか。

エ 少子高齢社会の進展に伴い、おむつの問題はごみにとどまらず、福祉の観点からも重要なことであると思うがどうか。副市長に伺いたい。

(3) 持ち去り対策について

ア 古紙の資源物の持ち去りの状況について伺いたい。

イ これまでどのような対応をしてきたのか。

ウ 持ち去り対策の課題について伺いたい。

エ 今後のどのような策を講じていくのか伺いたい。

オ 住民の協力を得るためにどのように取り組んでいくのか伺いたい。

3 最終処分場の確保と焼却灰資源化について

(1) G30の取組による、一般廃棄物の埋立削減量について伺いたい。

- (2) 23年度の一般廃棄物の埋立量はどの程度か。
- (3) 第2ブロック処分場の残余容量はどの程度か。
- (4) 第2ブロック処分場の延命化はどのように行うのか。
- (5) 今後、どのように焼却灰の資源化を進めるのか。
- (要望) 新規処分場の共用開始に間に合うよう、必要な取組を確実に実施することを要望します。

4 キャラクターについて

- (1) 「イーオ」を作った目的について伺いたい。
- (2) 全市のキャラクター数について伺いたい。
- (意見) 経費をかけてやっているものだと思うので、やるべきことをやっていくことは必要だが、すでにあるキャラクターを活用してやっていくのもひとつではないか。

8 今野典人委員（民主ク）

1 ヨコハマ3R夢プランの目標達成に向けた取組について

- (1) ヨコハマ3R夢プランの進め方について伺いたい。
 - (2) 目標値と目標の達成状況の示し方をどのように行うのか。
 - (3) 行動目標とは具体的にどのようなものか伺いたい。
 - (4) 行動目標を設定するねらいは何か。
 - (5) 取り組んだ成果を市民が実感するためにどのようにフィードバックするのか伺いたい。
- (要望) 温室効果ガス削減の達成状況が、誰にでも見えるようなアイデアを広く市民に募集するなどして、3R夢プランの推進を盛り上げていただくことを要望します。

2 集合住宅対策について

- (1) 分別の推進に集合住宅対策を掲げた理由について伺いたい。
 - (2) 対象物件の選定方法について伺いたい。
 - (3) 22年度の取組状況について伺いたい。
 - (4) どのような改善事例があるのか伺いたい。
 - (5) 23年度はどのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (要望) 今後、10戸未満の集合住宅であっても、集積場所を設置するという基準に改めるとともに、適切な集積場所の設置を担保するため、条例化することについても検討していただくよう要望します。

9 宇都宮 充 子 委員（ネット）

1 し尿処理対策について

- (1) し尿の収集は、どのような体制で行われているのか伺いたい。
- (2) 浄化槽清掃を行っている民間事業者の状況について伺いたい。
- (3) 震災時のトイレ対策について伺いたい。
- (4) レンタルの仮設トイレは必要数が確保できるのか。
- (5) 震災時の仮設トイレのし尿収集体制について伺いたい。
- (6) 家庭における震災時のトイレ対策の課題は何か。
- (7) 災害時のトイレ対策の市民啓発について伺いたい。

2 管路収集事業について

- (1) 現在の利用状況及び事業収支の改善に向けた取組について伺いたい。
- (2) 22年度の取組内容はどのようなものか。
- (3) 結果と今後の検討の進め方について伺いたい。
- (意見) 利用者との十分な調整を行って早期に廃止時期の決定をすべきである。